

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-131954 (P2003-131954A)

【公開日】平成 15 年 5 月 9 日 (2003.5.9)

【出願番号】特願 2002-226457 (P2002-226457)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 12/16

G 1 1 C 16/06

G 1 1 C 29/00

H 0 3 M 13/35

【F I】

G 0 6 F 12/16 3 2 0 L

G 1 1 C 29/00 6 3 1 Z

H 0 3 M 13/35

G 1 1 C 17/00 6 3 9 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 2 日 (2005.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ペイロードと、

冗長と、

ペイロードと冗長との区切りを含み、区切りがペイロードと冗長との第 1 の比率を指定する第 1 の位置から、ペイロードと冗長との第 2 の比率を指定する第 2 の位置に移動できるデータ構造。

【請求項 2】

区切りが第 1 の位置にある場合は冗長に第 1 の誤り訂正符号が格納され、区切りが第 2 の位置にある場合は冗長に第 2 の誤り訂正符号が格納される請求項 1 に記載のデータ構造。

【請求項 3】

データ構造内で定義された冗長に初期誤り訂正符号を関連付けることと、

初期誤り訂正符号を更新誤り訂正符号で置き換えること

を含む方法。

【請求項 4】

さらに、冗長とペイロードの間に定義された区切りを移動し、冗長内に更新誤り訂正符号が必要とする領域を提供する請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

記憶デバイス内でペイロードと冗長を定義してペイロードと冗長の合計に対するペイロードの比率を定義することと、

この比率を動的に変更して冗長のサイズを変更すること

を含む方法。

【請求項 6】

さらに、データ・記憶デバイスのメモリ試験を実行し、冗長が十分かどうかを判断することを含む請求項 5 に記載の方法。

## 【請求項 7】

誤り率の変化に応じて更新誤り訂正符号を割り当てて初期誤り訂正符号に置き換える更新誤り訂正符号（ECC）割り当てモジュールと、

更新誤り訂正符号割り当てモジュールが選択できる少なくとも 2 つの ECC を含む ECC ライブラリ

を含むシステム。

## 【請求項 8】

さらに、初期誤り率に応じて初期誤り訂正符号を割り当てる初期誤り訂正符号割り当てモジュールを含む請求項 7 に記載のシステム。

## 【請求項 9】

さらに、初期誤り訂正符号割り当てモジュールに記憶デバイスのテクノロジーを報告し、初期誤り訂正符号をより適切に選択できるようにするテクノロジー・タイプ決定モジュールを含む請求項 8 に記載のシステム。

## 【請求項 10】

コンピュータで実行可能な命令が格納されたコンピュータで読み取り可能な媒体であって、この命令を実行するときに、

データ・記憶デバイス内で定義された冗長に初期誤り訂正符号を関連付ける作業と、

データ・記憶デバイスの誤り率の変化に応じて更新誤り訂正符号を冗長に関連付ける作業と、

データ・記憶デバイス内の冗長とペイロードの間に定義された区切りを移動し、更新誤り訂正符号の冗長データに必要な領域を提供する作業

を実施する媒体。